

第九たいむず

●10月29日は通常練習です♪



No. 19 2009. 10.15

通刊861 担当 UKAI

ホームページ: www.takasaki9.com メールアドレス: takasaki9@myad.jp

〒370-0046 高崎市江木町483 TEL/FAX: 027-323-0233 (団長渡辺) 携帯電話: 080-5474-2673 (事務局長 中村)

◆軽井沢合宿<追加申し込みは可能です>

11月14日(土)13:30~15日(日)16:00 武蔵野音楽大学 軽井沢研修所

パート練習(本番前の最後のパート練習です)+全体合わせ、2日目朝は講義があります。

夕食と懇親会と自由時間(入浴・歓談・海外公演報告等普段は話せない人たちと交流できるチャンス) お一人1品程度で差し入れ、お願いします☆お水も歓迎

※合宿の仕上げは全曲暗譜です。「この2日間だけじゃできるか不安」なんて人は、今のから少しずつ暗譜で練習しましょう。家でCD聴いて木曜練習で楽譜をはずしてみる、というのも効果的☆

※合宿の追加申込、車の乗り合わせ希望、キャンセルなど、随時受け付けまでお尋ねください。

◆演奏会プログラムの広告を募集します(締め切りは10月22日(木))

演奏会プログラムに、お店や会社、サークルや有志で広告掲載にご協力していただける方を募集しています。詳細は受付にて「広告のお願い」の案内をお取りください。作成・加工もいたします。

◆チケットについて<チケットは買い取ってはいけません!>

チケットは皆さんでチケットを売って、お客さんに来ていただき、客席をいっぱいにしていただきます。そのため、皆さんの協力が必要となりますので、よろしくお願いいたします

・チケットは1枚でも売れたら次の木曜日に精算してください。その際、**封筒は必ず**お持ちください。

・座席の「指定」が、**チラシ裏面で申し込む**ことができます。場所は指定できません。チケット購入後でも確保席を申し込めます。お申込はホームページ又はFAX、または受付の中村・小野里まで。

◆演奏会の衣装について

女声: 白ブラウス・黒のロングスカート・黒靴 男声: 黒スーツ・白ワイシャツ・黒蝶ネクタイ・黒靴
上記に加え、男声女声共に、演奏会一部(クリスマスキャロル・ハレルヤ)では赤いポインセチアのコサージュをつけます。新人さんとお持ちでない方は、役員に申し出ください。(100円程度)

◆コンサート情報・行事情報

☆群馬県高校教育研究会音楽部会第15回定期演奏会

2009年10月17日(土) 18:00開演 前橋市民文化会館 小ホール 1000円

出演: 松原真介(元指導者)、住谷 伴 ほか 独唱・カルテット・ピアノ演奏等多種の演奏が楽しめます。

☆中世・ルネサンス 小さな音楽の祭典2009

2009年11月7日(土) 13:30開場 14:00開演 前橋市民文化会館 第1リハーサル室 入場無料

出演: アンサンブル・ビクトリア(コーラス)、石原理恵(ソロボーカル)、Toca Toca(器楽合奏)他

主催: 中世・ルネサンス音楽合奏団 Toca Toca

中世・ルネサンス音楽に親しむ集いとなることを願い、企画されました。演奏曲の概要としては、①スペインのモンセラート修道院に伝承する、中世巡礼者たちに歌われたモンセラートの朱い写本として知られるマリア賛歌、②中東様式の旋律を色濃く残す中世舞曲、③中世からルネサンスの移行期に活躍したギョーム・ド・マショーの歌曲、④ルネサンス、フランスに花開いた歌曲「シャンソン」・ルネサンス舞曲などなど、合唱、独唱、リュートやリコーダーの器楽合奏による様々な編成で演奏します。特に、中世・ルネサンス当時の空気を醸し出すリュートの音色、現在活躍中のアンサンブル・ビクトリアの合唱はイチオシです! 日本では中世の曲をコーラスで歌うこと自体があまり無いので、普段耳にできない音楽の魅力をお楽しみ頂けると幸いです。是非、気軽にお立ち寄り下さい(私、テノール太田も出演します♪)。

※10月9日(金)群馬よみうり新聞に、10月1日の練習風景、今回のヨーロッパ公演について、掲載されました。

♪12月演奏会:テノール 鈴木 准 (すずき じゅん)プロフィール

ーベルカントのリリックな美声と麗しい姿で聴衆の心をとらえるプリモ・テノールー



北星学園大学文学部(北海道札幌市)卒業。東京芸術大学声楽科卒業。卒業時、松田トシ賞並びにアカンサス音楽賞受賞。同大学院修士課程独唱科修了。現在は、同大学院博士後期課程に在籍し、ベンジャミン・ブリテンの声楽作品に取り組む。第7回J. S. G. 国際歌曲コンクール入選。第49、50回東京芸大「メサイア」(朝日新聞社主催)にソリストとして出演以来、バッハ「ヨハネ受難曲」「クリスマス・オラトリオ」の福音史家、「マタイ受難曲」「ロ短調ミサ」、モーツァルト「ハ短調ミサ」「レクイエム」「戴冠ミサ」「ミサ・ソレムニス」「ヴェスペレ」「リタニア」他の宗教的作品に出演。さらに、イギリスやドイツの作曲家の声楽アンサンブル作品にも積極的に取り組み、多くの演奏会に出演。99年よりバッハ・コレギウム・ジャパンのメンバーとして国内外の公演に参加、2000年サントリーホール「マタイ受難曲」ソリストを始めとして、02年スペイン公演、03年アメリカ公演、帰国

後の記念演奏会でもソリストを務め、好評を博した。

オペラでは06年2月神奈川県民ホール『愛の白夜』(新作初演・一柳慧作曲、外山雄三指揮、白井晃演出)ヨーニスで出演、明瞭な日本語による歌唱と演技で期待に応えたことは記憶に新しい。さらに06年11月、東京二期会『コシ・ファン・トゥッテ』(宮本亜門演出・新制作)のフェランドの群を抜く歌唱力で、聴衆を魅了。07年7～8月には兵庫芸術文化センター主催『魔笛』(芸術監督／指揮 佐渡裕、演出 エマニュエル・バステ)にタミーノ役で出演し絶賛を浴び、さらに11月には青少年のための日生劇場オペラ教室『魔笛』にタミーノ役で出演。モーツァルトをレパートリーの中心に据える貴重なテノールとして、その活躍の場を広げている。その他、01年東京芸大オペラ定期『ドン・ジョヴァンニ』(若杉弘指揮、実相寺昭雄演出)ドン・オッターヴィオ、相模原市民文化財団・オペラ実験工房01年『魔笛』タミーノ、04年『ドン・ジョヴァンニ』ドン・オッターヴィオ、04年北とぴあ国際音楽祭記念事業「イドメネオ」(寺神戸亮指揮、演奏会形式)大祭司、06年8月金沢市オペラ振興事業・親子で楽しむメルヘンオペラ『小さな魔笛』(天沼裕子指揮、M. コップフ演出)タミーノに出演、モーツァルトの作品を主なレパートリーとしている。2008年11月、日生劇場『魔笛』(上岡敏之指揮 読響)タミーノに出演し好評を博した。二期会会員。新進気鋭のヴォーカル・アンサンブルBless B Quintetの活動も行っている。

<http://www17.plala.or.jp/BBQ/>

◆群馬オペラ協会のカルメンに出演しました②

【ソプラノ 小林薫子】

カルメンは合唱も出番や曲数が多いため、一通り譜読みが終わるのに、2ヶ月くらいはかかりました。そして、5月半ばくらいには児童合唱のオーディションが行われ、6月の初めからは児童合唱も練習に加わりました。6月の終わりからは、いよいよ、立ち稽古(演技をつけての稽古)も始まり、演技が付くと雰囲気も出たりして、練習の方も音楽だけの時より、更に楽しくなってきました。そして、8月からは、衣装を付けての稽古でしたが、今回は、衣装は自分で揃えたので、何度もスタッフ(衣装の方)のチェックを受けたりしました。更に場面ごとに衣装や飾りを変えるため、着替えや衣装を揃えたりなど大変な面もありました。そして、9月に入ってから、通常の稽古は12日までで、18日にはピアノ伴奏での通し稽古、23日は国立音大でのオケ合わせ(この日は音楽稽古のみ)、26日は場当たり(舞台の位置確認)、ゲネプロ、27日が本番とかなり忙しかったです。

ゲネプロの日(26日)に初めて、本番の会場での練習でしたが、やはり普段の練習会場とは、広さや、道具なども違い、演技などの面でも戸惑ったりしましたが、短い時間で集中して覚えることができたので、よかったと思います。それに、オペラの情景も照明の色を変えたりするだけで、随分違ってくることがよく分かります。カルメンは、ソリストとの絡みも多いので、この半年間は、通常の稽古の時もソリストの方々と一緒に稽古ができていたりして、とても楽しかったです。そして、本番では、会場も大変盛り上がり、すごく嬉しかったです。

今回は、合唱団は群馬で申し込みをした方他、東京からも国立音大の学生や、立川オペラ合唱団の方々も加わったので、70人くらいの合唱団となりました。また、オーケストラ、児童合唱、フラメンコも加わると、合計で100人以上と大規模な舞台となりました。今回は、出演者の他、スタッフ(衣装、大道具、小道具など)の方々にも大変お世話になり、とても素晴らしい舞台を作り上げることができました。お陰で、オペラ公演は、大成功＆大盛況のうちに終演し、とても貴重な体験ができてよかったです。そして、素晴らしいソリストの方々と共演できたことも、とても嬉しく思います。